

## 令和5年度 事業計画

新型コロナウイルス感染症は、令和5年5月8日に5類感染症に移行しました。今後は、かつての日常を取り戻すだけでなく、さらなる経営の安定化と次世代への事業継承の目途をたてるべき重要な年とし、下記の事業を実施します。

### 1 環境教育

伊万里・大坪・二里小学校の4年生と立花小学校の3年生の約300名に対して、佐賀大学の染谷先生の協力を受け、環境教育を例年どおり実施します。

### 2 農産物直売所「風道」の活用とはちがめ堆肥の販売促進

「風道」の生産農家の多品目野菜類の計画的生産と販売への拡大、併せて堆肥の販売促進を目指します。

### 3 菜の花プロジェクト活動

いまり菜の花の会との協働で「環境杯グランドゴルフ大会」「保育園児による菜の花栽培と図画展」「菜の花栽培経験交流会」等を実施し、菜の花栽培の普及並びに啓発活動に努めます。

### 4 国内及び海外からの研修生の受け入れ

JICA 紹介による海外からの研修生を受け入れの要望があれば実施します。

### 5 今後について

#### ① 行政との関係の進化

環境課や企画政策課の協力によって市立保育園や給食センターの生ごみ資源化が実現しています。さらにNPO活動に対して「環の里計画」の市民活動経費として年間170万円の補助金を頂いています。しかし、生ごみの取り扱いについては一般廃棄物であることから法的に市町村の責務となっていますので今後共、協働事業化への取り組みについての協議と提案を行ない※「実績」に対する適正な施策の実現を目指します。

#### ② 関係議員との意見交換会

はちがめプランの活動についての正しい理解促進を図っていくために意見交換会を計画し実施します。

#### ③ ローカルSDGsの実現

近隣の各地で有機農業を実践し、はちがめ堆肥を利用している篤農家の組織化を支援し、連携を図り「第5次環境基本計画」において提唱された新しい概念「ローカルSDGs（地域循環共生圏）」構想の実現を目指します。

